

会員事業所景況実態調査平成31年4月～令和元年6月分集計結果
調査依頼数:535 回答数79 回答割合:14.8%

平成31年度1回目の会員事業所景況実態調査の調査結果について下記のとおり報告いたします。
 調査結果については、今後の要望・提言活動や経営相談に活用してまいります。
 ご回答いただいた事業所の皆様、お忙しいなか、ご協力ありがとうございました。

★DI値とは

各項目について、増加・好転(仕入単価:下落、従業員:不足)と回答した事業所の割合から減少・悪化(仕入単価:上昇、従業員:過剰)と回答した事業所の割合を減じた数値。
 ゼロを基準とし、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。

【質問 A】 前年同時期と比較した4月～6月の景況

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	13	26	39	78	▲ 33.3	▲11.9
	採算	9	38	31	78	▲ 28.2	▲18.1
	仕入単価	2	36	39	77	▲ 48.1	▲48.8
	従業員	24	48	6	78	23.1	23.8
	業況	6	42	28	76	▲ 28.9	▲10.7
	資金繰り	6	56	16	78	▲ 12.8	▲4.8
建設・建築業	売上	2	6	9	17	▲ 41.2	▲6.7
	採算	1	6	10	17	▲ 52.9	0.0
	仕入単価	0	7	10	17	▲ 58.8	▲46.7
	従業員	5	11	1	17	23.5	33.3
	業況	1	7	8	16	▲ 43.8	0.0
	資金繰り	1	9	7	17	▲ 35.3	0.0
製造業	売上	1	5	10	16	▲ 56.3	▲27.8
	採算	1	11	4	16	▲ 18.8	▲41.2
	仕入単価	0	3	13	16	▲ 81.3	▲58.8
	従業員	3	11	2	16	6.3	16.7
	業況	1	9	5	15	▲ 26.7	▲22.2
	資金繰り	1	13	2	16	▲ 6.3	▲16.7
卸・小売業	売上	1	6	8	15	▲ 46.7	0.0
	採算	2	8	5	15	▲ 20.0	▲25.0
	仕入単価	1	8	6	15	▲ 33.3	▲43.8
	従業員	4	11	0	15	26.7	18.8
	業況	0	8	7	15	▲ 46.7	▲12.5
	資金繰り	1	11	3	15	▲ 13.3	▲12.5
飲食・サービス業	売上	7	3	9	19	▲ 10.5	▲10.5
	採算	5	6	8	19	▲ 15.8	▲5.3
	仕入単価	1	10	7	18	▲ 33.3	▲42.1
	従業員	8	8	3	19	26.3	42.1
	業況	3	10	6	19	▲ 15.8	▲10.5
	資金繰り	2	16	1	19	5.3	10.5
その他	売上	2	6	3	11	▲ 9.1	▲12.5
	採算	0	7	4	11	▲ 36.4	▲18.8
	仕入単価	0	8	3	11	▲ 27.3	▲53.3
	従業員	4	7		11	36.4	6.3
	業況	1	8	2	11	▲ 9.1	▲6.3
	資金繰り	1	7	3	11	▲ 18.2	▲6.3

(全体)

仕入単価、人手不足以外は前回より悪化している。特に売上は20ポイント以上、採算、業況は10ポイント以上悪化している。DI値をみると、売上が▲30ポイント以上、仕入単価が▲40ポイント以上とマイナス値が高くなっている。

(建設・建築業)

人手不足以外は悪化しており、そのすべての項目で10ポイント以上悪化している。採算は50ポイント以上、業況は40ポイント以上、売上、資金繰りは30ポイント以上悪化している。DI値自体も仕入単価は▲60ポイント近く、採算は▲50ポイント以上、売上、業況は▲40ポイント以上とマイナス値が高くなっている。第一四半期の公共工事発注が非常に少ないことが要因となっていると推測されるのではないか(毎回の景況調査での意見要望に挙がっているご意見・ご要望から)。

(製造業)

採算、人手不足、資金繰りは改善している。特に採算が20ポイント以上、人手不足、資金繰りが10ポイント以上と大幅に改善している。売上、仕入単価、業況は悪化している。特に売上は30ポイント近く、仕入単価は20ポイント以上と大幅に悪化している。さらにDI値をみると、売上は▲50ポイント以上、仕入単価は▲80ポイント以上とかなりマイナス値が高くなっている。

(卸・小売業)

採算、仕入単価は改善しているが、依然として仕入単価のDI値は▲30ポイント以上と高くなっている。売上、人手不足、業況、資金繰りは悪化し、特に売上は▲40ポイント以上、業況は▲30ポイント以上と大幅に悪化している。DI値は両項目とも▲40ポイント以上とマイナス値が大幅に高くなっている。

(飲食・サービス業)

仕入単価、人手不足は改善しており、人手不足は10ポイント以上と大幅に改善している。しかしながら、仕入単価は依然としてDI値が▲30ポイント以上とマイナス値が高くなっている。採算、業況、資金繰りは悪化しており、採算は10ポイント以上と大幅に悪化している。資金繰りは悪化しているが、依然としてDI値がプラスとなっている。

(その他)

売上、仕入単価は改善し、特に仕入単価は20ポイント以上と大幅に改善している。採算、人手不足、業況、資金繰りは悪化し、特に人手不足が30ポイント以上、採算、資金繰りが10ポイント以上と大幅に悪化している。DI値をみると、採算が▲30ポイント以上、

人手不足が30ポイント以上と大幅に高くなっている。

【質問 A】 6月と比較した7月～9月の先行き見通しについて

	項目	増加・好転	不変	減少・悪化	合計	DI値	前回DI値
全体	売上	13	33	31	77	▲ 23.4	▲ 34.7
	採算	8	39	27	74	▲ 25.7	▲ 20.2
	仕入単価	2	39	35	76	▲ 43.4	▲ 41.3
	従業員	24	48	5	77	24.7	23.9
	業況	8	42	24	74	▲ 21.6	▲ 22.3
	資金繰り	6	55	16	77	▲ 13.0	▲ 6.4
建設・建築業	売上	3	6	7	16	▲ 25.0	▲ 42.1
	採算	1	7	8	16	▲ 43.8	▲ 26.3
	仕入単価	0	8	9	17	▲ 52.9	▲ 52.8
	従業員	4	13	0	17	23.5	26.3
	業況	2	6	8	16	▲ 37.5	▲ 21.1
	資金繰り	1	9	7	17	▲ 35.3	▲ 15.8
製造業	売上	2	7	7	16	▲ 31.3	▲ 36.4
	採算	2	8	6	16	▲ 25.0	▲ 31.8
	仕入単価	0	6	10	16	▲ 62.5	▲ 50.0
	従業員	3	12	1	16	12.5	13.6
	業況	2	11	2	15	0.0	▲ 18.2
	資金繰り	2	12	2	16	0.0	4.5
卸・小売業	売上	2	6	7	15	▲ 33.3	▲ 50.0
	採算	1	7	5	13	▲ 30.8	▲ 6.7
	仕入単価	1	6	7	14	▲ 42.9	▲ 31.3
	従業員	4	9	1	14	21.4	21.4
	業況	1	8	5	14	▲ 28.6	▲ 37.5
	資金繰り	2	8	4	14	▲ 14.3	▲ 6.3
飲食・サービス業	売上	3	10	6	19	▲ 15.8	▲ 11.8
	採算	3	11	4	18	▲ 5.6	0.0
	仕入単価	0	12	6	18	▲ 33.3	▲ 25.0
	従業員	10	7	2	19	42.1	31.3
	業況	2	11	5	18	▲ 16.7	▲ 5.9
	資金繰り	1	18	0	19	5.3	11.8
その他	売上	3	4	4	11	▲ 9.1	▲ 33.3
	採算	1	6	4	11	▲ 27.3	▲ 28.6
	仕入単価	1	7	3	11	▲ 18.2	▲ 42.1
	従業員	3	7	1	11	18.2	28.6
	業況	1	6	4	11	▲ 27.3	▲ 30.0
	資金繰り	0	8	3	11	▲ 27.3	▲ 25.0

(全体)

売上、業況は改善する見通しで特に売上は10ポイント以上と大きく改善する見通しである。
採算、仕入単価、人手不足、資金繰りはわずかではあるが悪化する見通しである。DI値を見ると、仕入単価が依然として▲40ポイント以上とマイナス値が高くなるという見通しである。

(建設・建築業)

売上、人手不足は改善する見通しで特に売上は10ポイント以上と大きく改善する見通しである。
採算、業況、資金繰りは10ポイント以上と大きく悪化する見通しである。DI値を見ると、仕入単価は依然として▲50ポイント以上、採算は▲40ポイント以上、業況、資金繰りは▲30ポイント以上とマイナス値が高くなるという見通しである。

(製造業)

売上、採算、人手不足、業況は改善する見通しで、特に業況では20ポイント近く改善する見通しである。
仕入単価、資金繰りは悪化する見通しである。仕入単価は10ポイント以上と大幅に悪化する見通しで、またDI値も▲60ポイント以上とかなりマイナス値が高くなるという見通しである。

(卸・小売業)

売上、業況は改善する見通しであるが、売上のDI値は依然として▲30ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。
採算、仕入単価、資金繰りは悪化する見通しで、特に採算は20ポイント以上、仕入単価は10ポイント以上と大幅に悪化する見通しである。DI値を見ると、採算が▲30ポイント以上、仕入単価が▲40ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。

(飲食・サービス業)

全項目で悪化する見通しで、特に人手不足と業況は10ポイント以上悪化する見通しである。
DI値を見ると、人手不足が40ポイント以上、仕入単価が30ポイント以上とマイナス値が高くなる見通しである。
また、資金繰りのDI値は依然としてプラス数値となる見通しである。

(その他)

資金繰り以外は改善する見通しで、特に売上、仕入単価は20ポイント以上、人手不足は10ポイント以上と大きく改善する見通しである。